

(様式)

令和3年度 現地技術実証展示ほ 成果情報

## 炭酸ガス施用による冬季のスプレーギク品質向上技術の実証

### 要約

スプレーマム栽培において、炭酸ガス施用により冬季の上位等級の発生率が上がり、品質向上に効果が認められた。

### ○ 展示のねらい

切花生産における炭酸ガスの施用は、バラ栽培で一早く導入され、収量や品質向上など一定の成果に繋がっている。また、輪菊生産においても、同様に切花品質向上のため一部で導入が図られている。そこで、スプレーギク生産においても切花品質を向上させることができるか、同技術を実証した。

展示内容 供試区 炭酸ガス施用 400ppm

対照区 炭酸ガス無施用 (部会平均出荷実績)

### ○ 主な成果

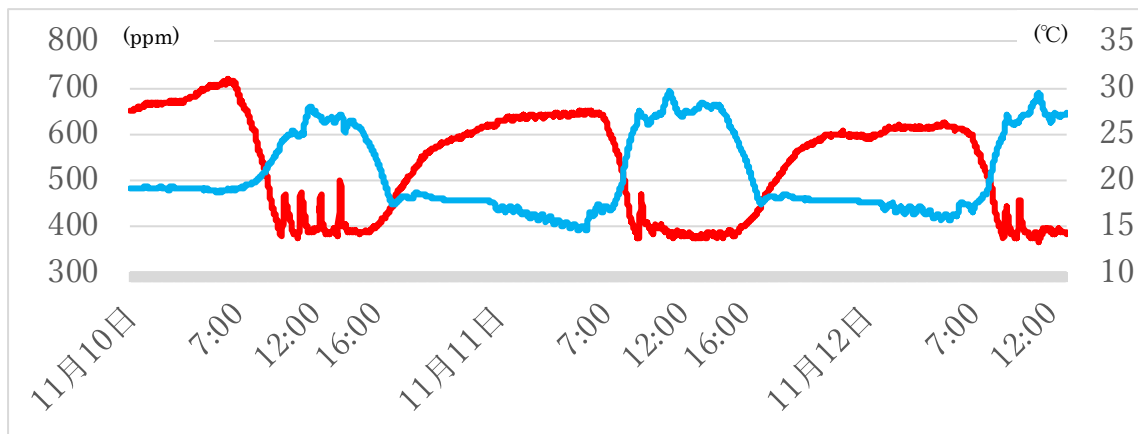


図 ハウス内環境 (炭酸ガス濃度 (赤)、気温 (水色) 11月10日~12日)

表 出荷実績 (12月1日~15日 : %)

区	2L	L	M	S	規格外
供試区	39.2	35.4	21.7	1.4	2.3
対照区	27.4	32.0	23.3	5.5	11.8

・ハウス内の炭酸ガス濃度 (赤線) は、日中 400ppm 前後で推移し、設定値を下回ること無かった (図)。

・出荷実績では、2L、Lともに供試区がそれぞれ 11.8%、3.4%対照区より多く、規格外が 9.5%少なく、炭酸ガスの効果により上位等級の発生率の向上が確認できた (表)。

### ○ 今後の方向性

・炭酸ガス施用に併せてより効果を発揮させるため、施肥設計の見直し等他の環境要因改善も合わせて行う必要がある。

実施機関：芳賀農業振興事務所経営普及部

実施場所：市貝町

問合せ先：栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315